

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月19日 更新

事務事業名		総合型地域スポーツクラブ運営支援事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	辻 健一
	施策	22 生涯スポーツの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	衛藤 和博
	基本事業	71 スポーツへの参加機会の提供				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1519
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番10825	法令根拠	スポーツ基本法 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱 成果優先度評価結果：③ コスト削減優先度評価結果：⑪	
終了、開始年度		☐ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成15年4月「クラブにしごうし」は、総合型地域スポーツクラブとして自主運営、地域における公益を目的とした地域に開かれたスポーツクラブとして設立された。・平成12年には、県スポーツ振興基本計画で立ち上げが推進され、平成20年までに少なくとも市町村に1つの総合型地域スポーツクラブを作ることが目標に掲げられた。総合型地域スポーツクラブ「クラブにしごうし」は設立から10年が経過。平成26年度会員数640名である。・平成19年3月31日に合志市2つ目の総合型地域スポーツクラブ「ウィーブルFUNクラブ」が設立した。平成26年度会員数は614名。
【業務の流れ】	総合型地域スポーツクラブへの補助金申請受付、交付業務、事務局としての受付・会議等での業務補助、施設の確保。
【主な予算費目】	使用料及び賃借料・補助金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・会員からは、クラブに入れば幾つもの種目が体験でき、異世代間の交流ができるとの意見がある。親子でスポーツできる。 ・自分のペースでスポーツができる。・指導者からは、自分の能力を試せる場となっているという意見。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO) 【前年度内容】総合型地域スポーツクラブの補助金申請、交付業務、事務補助・年間を通して活動の場(市の体育施設)を半額免除で提供。		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 総合型地域スポーツクラブへの補助金申請受付、交付業務 事務補助・年間を通して活動の場(市の体育施設等)を半額免除で提供する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 補助金額	円	クラブにしごうしへの補助金(スポーツ振興くじ助成事業)の増
イ 施設使用料減免額	円	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
総合型地域スポーツクラブ	→ ア クラブ数	団体
	→ イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
総合型地域スポーツクラブ事業計画に則り、事故なく活動ができる。	→ ア 事業計画に則り、事故なく活動ができた事業の割合	%
	→ イ	
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
総合型地域スポーツクラブが問題なく運営されているか示すために設定した。		全体計画
		～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移											
		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込	
① 活動指標	ア	円	2,191,000	2,176,000	4,051,000	4,051,000	4,246,000	4,097,000	997	997	
	イ	円	520,000	520,000	520,000	520,000	520,000	520,000	520	0	
② 対象指標	ア	団体	2	2	2	2	2	2	2	0	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	0	
	イ										
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	736	454	3,053	3,054	3,249	2,790		
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	1,244	1,461	1,363	1,714	1,487	1,307	997	997
	(A) 事業費計	千円	1,980	1,915	4,416	4,768	4,736	4,097	997	997	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	5	5	3	0	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	135	423	45	0	90	85	60	60
		(B)人件費計	千円	0	1,685	179	0	358	338	239	239
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,980	3,600	4,595	4,768	5,094	4,435	1,236	1,236	

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ運営支援事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度的事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事業計画により、事故なく事業を行う予定である。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 クラブ会員数が増えクラブが活性化すれば、クラブの会計が潤い、活発補助金の減額につながる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はないが、本事業内で「クラブにしごうし」と「ヴィーブルFUNクラブ」の2つのスポーツクラブがあり、「ヴィーブルFUNクラブ」はトランポリンのみの競技で行なわれているということと、会費等の問題もあり、現在は統合できない。（将来的には統合を目指す必要がある）
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 クラブ会員数の増加を図るための協議を行っており、会員が増加すれば補助金が削減できる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 事務局は総合型地域スポーツクラブの嘱託職員であり、市職員もできるだけ事務局員にまかせるようにしているが、クラブ組織確立のため育成に努めている。将来はクラブが自主運営できる体制を目指しているため、削減余地がある。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 多くの種目・教室数があるクラブにしごうしは、パンフレットを全戸配布するなどにより、受益機会を公平に与えている。予算の見直しや会費の値上げについては協議を行っている。会費の値上げについては、事業内容等を精査しながら慎重に行うべきである。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 移行は難しい。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

「ヴィーブルFUNクラブ」は、着実に会員を増やし発展しているが、「クラブにしごうし」は、会員数が減少しており、収入源・指導者謝金・指導者の確保等様々な問題を抱えている。
--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																								
☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												